

ミドルリーダーが組織的に支援する 学年・学級経営

—同僚性を高める「教師間のピア・サポートモデル」の構築を通して—

長期研修員 鈴木 雅之

中教審答申「新しい時代の義務教育を創造する」

「あるべき教師像の明示」より「優れた教師の条件」から《3つの要素》

- 《教職に対する強い情熱》には、「常に学び続ける向上心」
- 《教育の専門家としての確かな力量》の中には「生徒指導力」
- 《総合的な人間力》として、「対人関係能力」、「コミュニケーション能力」



そのため私は **教師の自己指導力** を向上させていくことが大切!ととらえました

「信頼される教師の養成・確保」より

《教師の質の向上のためには、職場の同僚同士のチームワークを重視》



このことを私は **教師の同僚性** を向上させていくことが大切!ととらえました

同僚性とは？

「教師集団が教育実践の改善を目的にあげて学校の中で協働する関係を意味するものである」

(Little, J.W)



そこで... 日常的に行う学校職員相互による職場内研修

OJT を生かして

教師ピア活動構造図



「教師間のピアサポート(以下「教師ピア」)」を

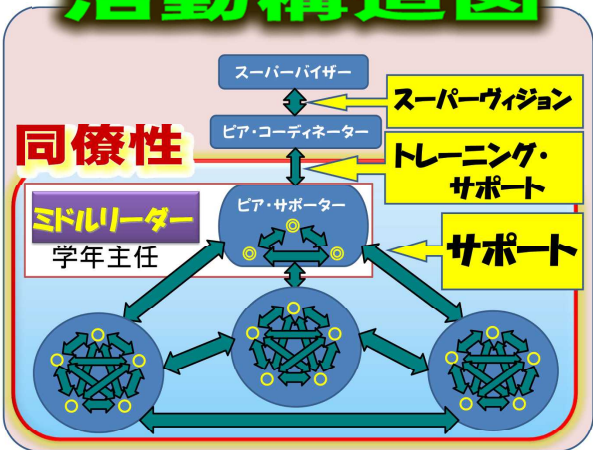
取り入れ、「ピア・サポート」のよさを指導・支援者である教師に OJT を生かして応用してはどうか？



このことは、学校組織のよさを生かした教師同士の相互成長モデルでは？



また、教師の自己指導力の向上と同僚性の向上の相乗効果をねらえるのでは？



「ピア・サポート」とは？

Peerは同年代の仲間、Supportは支援・援助の意味で、子どもたちは、困ったことや心配ごとがあったときに、同世代の友達に相談することが最も多いという事実に基づいて、約40年前に開発しました。悩んだり、困ったりしている子どもに対して、援助のための訓練を受けた仲間が、教育活動の一環としての支援活動を行うチームをつくり、組織的に援助活動を行うことをねらいとしています。



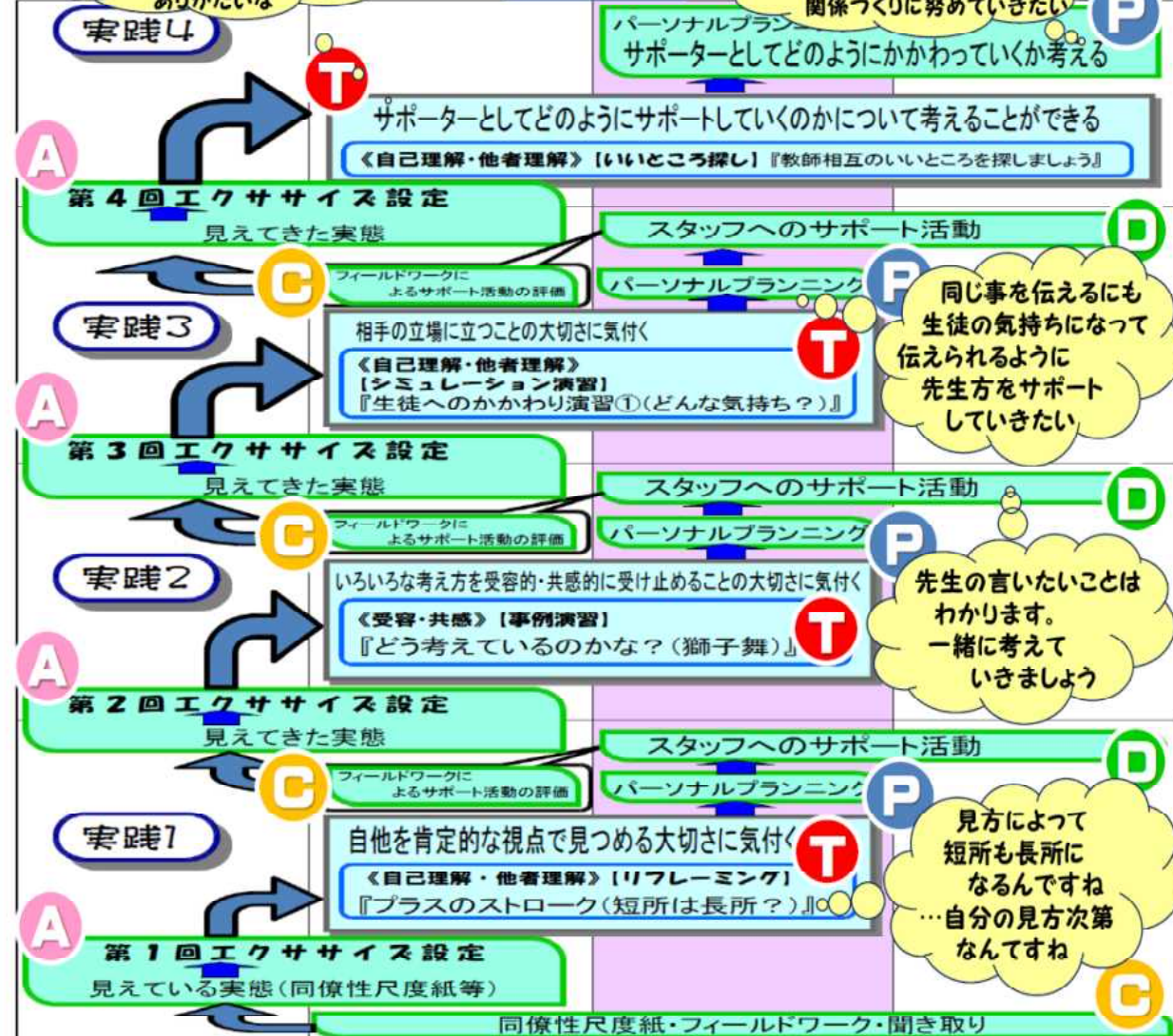
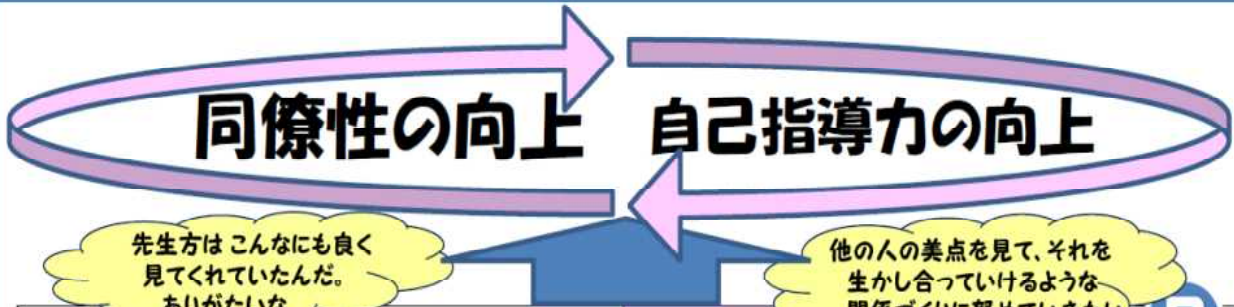
(Trevoe Cole)

「教師ピア」とは？

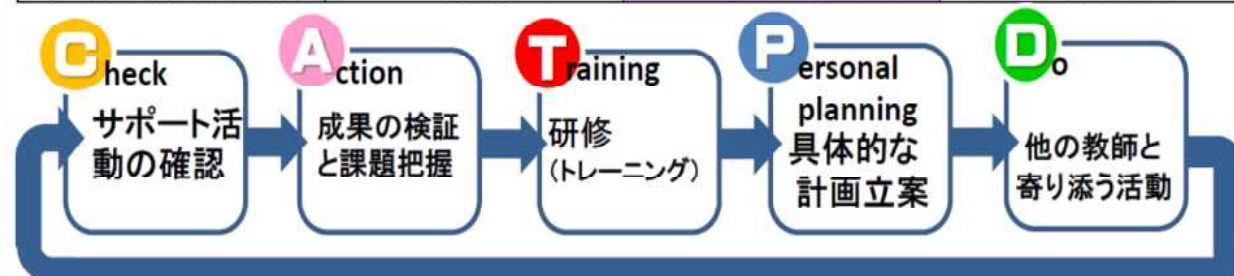


「教師ピア」とは、「ピア・サポート」のよさを指導・支援者である教師に OJT の機能を生かして応用した活動です。教師の自己指導力の向上と同僚性の向上の相乗効果をねらうものです。

「教師ピア」による本実践の概要図



スーパーバイザー 本研究の指導助言者	ピア・コーディネーター 研究者	ピア・サポーター 学年主任	スタッフ 担任や副担任など
-----------------------	--------------------	------------------	------------------



実践を振り返って

同僚性にかかわるアンケートより

A主任より

【事前】雰囲気は全体的には和やかなものであると感じられます。しかし、「ぬるま湯」的感覚を感じることや、同一步調を必ずしもとれているとは思えないことなど、時には不満を感じています。



【事後】雑談の中から生徒の話題や情報の交換が頻繁に行われており話しやすい雰囲気になってきています。もう少し「なあなあ」の気持ちがなくなれば、もっと生徒がよくなる職員室の雰囲気になると思います。

【インタビューより】「どうして、『なあなあ』の気持ちがあると感じますか？」

→ 「お互い馴れ合い過ぎの感があります。」 → 「改善策は何かありますか？」

→ 「親しい仲にも節度をもって歩んでいきたい。言うべきことはきちんと。もちろん『リフレーミング』して。まずは、自分から率先してやっていたらなと、思っています」

B担任より

【事前】考え方、指導方針が個々によって違うのは当然ですが、お互いを理解しあえる雰囲気は、あまりないように思います。私自身も含めてですが…。



【事後】割に落ち着いた感じがしています。人間だからお互い難しいところもありますが、一つ一つという感じです。

【インタビューより】「一つ一つとは具体的にどういうことですか？」

→ 「同僚性が高まってきているので、一つ一つを確認し合いながら進めていけば、より融合していくということです」

C非常勤講師より

【事前】他の学校に比べると机などの距離感があるためか、ちょっとした話などは少しづらう気がします。

【事後】週に一度の勤務で校内の状況がよく分からず困ることが多いのですが、いつも周りの先生方がフォローしてくれるので助かります。

【インタビューより】「話づらく感じていらっしゃったのがどうしてフォローされていると感じられるようになったのですか？」

→ 「以前より主任さんを中心に先生方がみんなあたたかい言葉を掛けてくださるようになったからです。」

「同僚性にかかわる尺度質問紙」(事前・事後)による検証

	因子		支持・承認サポート					協働性			職場満足												
	質問番号		質問1	質問2	質問3	質問4	質問5	質問6	質問7	質問8	質問9	質問10											
	平均値		同僚は、あなたの行動や考えに賛成したり、支持したりしてくれる。	同僚は、あなたを信じて仕事を任せてくれる。	同僚は、あなたの良いところをほめてくれる。	同僚は、あなたの良い教材研究や研修への取組を支持してくれる。	同僚は、子どもへの指導で良かったことを認めてくれる。	教師の仕事はやりがいがあると感じている。	私の現勤務校では、職員間の協働性が整っている。	私の現勤務校では、校務分掌が機能的である。	現勤務校の児童・生徒に愛着をもっている。	現勤務校での学校の仕事は充実感がある。											
	① 回目	② 回目	差	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②										
職員平均	3.29	3.54	+ 0.25	3.0	3.2	3.1	3.7	3.2	3.4	3.0	3.6	3.1	3.2	3.8	4.0	3.1	3.7	3.0	3.1	3.9	3.9	3.7	3.7
A主任	3.2	3.6	+ 0.4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	4	3	4	3	3	3	3	4	4	3	4
B主任	3.3	3.6	+ 0.3	3	3	3	4	3	3	3	4	3	3	4	4	3	4	3	3	4	4	4	4
C主任	3.3	3.6	+ 0.3	3	3	3	4	4	4	3	4	3	3	4	4	3	4	2	3	4	4	4	3
学年主任平均	3.27	3.60	+ 0.33	3.3	3.0	3.0	4.0	3.3	3.3	3.0	3.7	3.0	3.3	3.7	4.0	3.0	4.0	2.7	3.0	4.0	4.0	3.7	3.7

t検定 【職員全体】0.1%水準で有意である(t(9)=3.34,p<.001) 【学年主任】0.1%水準で有意である(t(2)=10.0,p<.001)

※「4 とてもよく思う」「3 わりとそう思う」「2 あまり思わない」「1 まったく思わない」の四段階評定尺度法による。

※質問 1~6は、支持・支援サポート尺度(石垣恵子) ※質問 1・4は一部改変

※質問 7・8は、学校組織性尺度【協同性】(貝川直子・鈴木真雄)

※質問 9・10は、学校組織性尺度【職場満足】(貝川直子・鈴木真雄)

成果

- 検証の結果、職員の意識の高揚が図れ自己指導力が向上したことが明らかになりました。
- 事前・事後に行った「同僚性にかかわる尺度質問紙」では、職員全体平均値が向上し、それ以上に学年主任の平均値は向上しました。

提言



1 日常の職員相互によるOJT

トレーニングを一過性のものにせず、より有効的に生かすためには、OJTの機能を生かすことが不可欠です。そのため、「研修の時間」という「枠組み」で実施するのではなく、「日常的に」サポート活動をしていくことが大切です。この考え方は喫緊の課題である「急速化する職員の入れ替わり」に直面している昨今、不可欠なものです。

2 「教師ピア」の活用

① 基本的活用

- ・スーパーバイザー：校長
- ・ピア・コーディネーター：教頭
- ・ピア・サポーター：学年主任



② 発展的活用

学校教育課題に即した活用が可能！

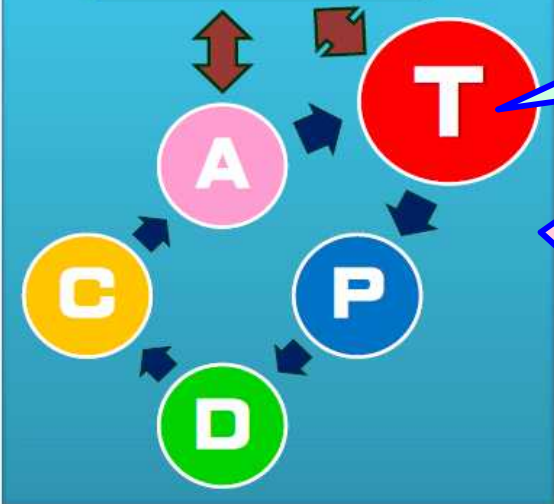
例) 校内研修の活性化

- ・スーパーバイザー：校長・教頭
- ・ピア・コーディネーター：研修主任
- ・ピア・サポーター：学年研修担当
- その他 教育相談でも！
教科指導でも！



教師ピアモデル

スーパーバイザー



- 学校経営方針
- 学校教育目標
- 管理職のリーダーシップ

- 学校課題解決に必要な研修
- 自己課題解決に必要な研修
- 同僚性に基づいた教え合い

「教師ピア」モデルについて

生徒を対象とした「ピアサポートモデル」は、TPDSサイクルです。「教師ピアモデル」では、改善に重きをおき、より高次の改善を促すために「検証(S)」を「評価(C)」と「改善(A)」に細分化しました。ここで、コーディネーターは校長との報告や連絡、相談機能を充実させ、「経営方針」の「目標の実現」へ向けていくことが重要です。「経営方針の具現化」を促進するために、主となって職員とかかわるミドルリーダーが「具体的な計画立案(P)」を行うための支援としての「トレーニング(T)」を受けます。Tでの学びを生かして「他の教師と寄り添う活動(D)」を遂行していくCATPDサイクルの流れとそれぞれの場面での要素を「教師ピアモデル」としました。

問い合わせ先 群馬県総合教育センター

担当係：生徒指導相談係

0270-26-9217(直通)